

# 1. 次世代育成支援行動計画(後期計画)推進事業の実施状況一覧

<評価> ◎=できている ○=ほぼできている △=余りできていない ×=できていない

事業名	方向性	計画策定時の実績(H20年度)	実施状況(実績)					H25年度において行った拡充、見直し・改善等の内容及び特記事項等	評価		決算額(千円)	問題点・対応等	所管課
			H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H25年度		H25年度	行動計画の基本目標に沿って事業を推進する上での問題点			
42503 〔仮称〕「西宮市の幼児教育のあり方」の策定【重点】	継続	—	審議会開催回数 16回 (作業部会含む)	17回 (作業部会含む)	12回 (作業部会含む)	5回 (作業部会含む)	「西宮市幼児期の教育・保育審議会」の議論の中でより質の高い幼児教育を提供する仕組みづくり等の課題への取組み進め平成25年8月に答申を受けた。	◎	平成25年8月に6つの諮問に対する答申を受けた。	627		新制度準備課 学校改革課	
42504 幼稚園教育担当の配置【重点】	継続	—	配置人数 1名	1名	1名	1名	私立幼稚園との連携強化に努めた。	◎	私立幼稚園への受入可能状況を把握し、保護者に情報提供するなど就園に関するサポート体制を整えた	—	所管が異なる中で関与の度合いを精査していく必要がある	学校改革課	
42505 幼稚園地域ふれあい事業	継続	実施幼稚園数 21園	21園	21園	21園	20園	報償費と委託料を予算計画時に切り分け、支出決済した。	◎	全園で計画的に実施することができている。地域での定着度も高まってきている。	3,611	《にぎわい》事業は地域諸団体等と共催して実施するので、安全・安心が確保できるように計画する。	学校教育課	
42506 幼児教育に関する調査・研究・研修	継続	開催回数 4種 18回 参加人数 1,334人	4種 18回 1,455人	4種 18回 1,591人	4種 17回 1,625人	4種 18回 1,141人	共同研究において、親子サロンを利用する親子にも啓発を行った。	○	研修においては今日的な課題に対応できるようなテーマを設定した。	— (子育て総合センター管理運営事業経費に含む)		子育て総合センター	
42507 幼稚園・保育所・小学校連携推進事業【重点】	継続	参加数 156校園所 相互体験研修回数 32回	157校園所 30回	164校園所 32回	165校園所 37回	165校園所 27回	「つながり」事業の重要性について子どもの育ちを核として幼小の教育の充実を図るべく発信した。	◎	「つながり」の各校園所の連携が深まってきている。	— (子育て総合センター管理運営事業経費に含む)		子育て総合センター・教育研修課	
6節 特別支援教育の充実													
42601 障害のある子どもの就学相談	継続	相談回数 214回	就園・就学相談件数 204件	就園・就学相談件数 212件	就園相談 49件 就学相談 211件 計260件	就園相談 54件 就学相談 218件 計272件	教育相談や就学相談等保護者のニーズに合わせて対応して、丁寧な相談を行った。	○	西宮市中心身障害児適正就学指導委員会の意見をもとに、保護者の意向を尊重しながら相談を行い、保護者の合意を得て就学することができた。	147	就園・就学相談の件数が年々増えている。今まで以上にわかば園や北山学園等と連携をとり、丁寧かつ迅速な就園・就学相談ができるようにする。また、早期に就学相談が開始できる方法として、就園・就学のためのガイダンスを設定することや、(仮称)児童発達支援センター開所を視野に入れた就園・就学相談の流れを検討していく必要がある。	特別支援教育課	

# 1. 次世代育成支援行動計画(後期計画)推進事業の実施状況一覧

<評価> ◎=できている ○=ほぼできている △=余りできていない ×=できていない

事業名	方向性	計画策定時の実績(H20年度)	実施状況(実績)					評価	決算額(千円)	問題点・対応等	所管課
			H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H25年度において行った拡充、見直し・改善等の内容及び特記事項等				
42602 特別支援学校による地域支援 【重点】	継続	相談回数 13回	(西養) 延191回 (芦特)3回	(西養) 延201回 (芦特)3回	(西養) 延160回 (芦特)5回 (県視特)1回	(西養) 延166回 (芦特)1回	校内支援会議などにも巡回相談員が参加して、学校園や福祉機関との連携について一翼を担った。	○	9	校内委員会を充実させ、巡回相談が各学校園でより効果的なものとなるようにしていきたい。また、県立特別支援学校へも地区やケースによっては支援を要請し充実させたい。	特別支援教育課
42603 「西宮専門家チーム」による教育サポート 【重点】	拡充	派遣回数 240回	235回	221回	278回	244回	24年度よりも西宮専門家チームの相談員の増員・充実を図り、相談内容の複雑化・多様化に対応できるようにした。	○	5,300	校内委員会を充実させ、西宮専門家チームのアドバイスが、各学校園でより効果的なものとなるようにしていきたい。	特別支援教育課
42604 発達障害のある児童生徒への教育支援体制づくり 【重点】	継続	支援員の配置 小学校31名 中学校11名	小学校40名 中学校20名	小学校40名 中学校20名	小学校40名 中学校20名	小学校40名 中学校20名	特別支援教育支援員の研修会を、より充実させるように自立支援協議会こども部会と共催で行い、特別支援教育支援員の資質向上を図った。	○	91,261	教育的配慮を要する児童生徒の実数が各学校によって異なるため、特別支援教育支援員の複数配置を行っていく必要がある。	特別支援教育課
<b>3章 家庭や地域の教育力の向上</b>											
<b>1節 家庭教育への支援の充実</b>											
43101 家庭教育振興事業	継続	ニュースレター 発行部数 111,500部	136,300部	139,000部	148,300部	144,000部	家庭教育の指針となる「5つの実践目標」を広く市民に啓発することが出来た。また、ホームページにも掲載した。	◎	1,395	家庭教育の啓発・支援は今後も必要とされることから、継続して家庭教育に関する学習機会や情報の提供に努める。家庭教育振興市民会議において、各種団体・学校・行政と一体になって家庭教育の啓発等に向け、意見・情報交換や連携をしていく必要がある。また、平成26年度からは今後の会議のあり方を見直し、啓発に向けた事業を進めていく。	社会教育課
43102 家庭教育講座	継続	参加人数 延351人	講座数 8回 参加人数 延427人	8回 延728人	8回 延644人	6回 延417人	PTA協議会と共催し、家庭教育問題に係わる講演会を開催した。	○	184	昨年度よりも講座数は少ないものの、家庭教育に関する講演会やワークショップを実施し、保護者など多くの参加者があった。	中央公民館

# 1. 次世代育成支援行動計画(後期計画)推進事業の実施状況一覧

<評価> ◎=できている ○=ほぼできている △=余りできていない ×=できていない

事業名	方向性	計画策定時の実績(H20年度)	実施状況(実績)					評価	決算額(千円)	問題点・対応等	所管課
			H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H25年度において行った拡充、見直し・改善等の内容及び特記事項等				
43103 青少年文化体験事業	事業終了	参加人数 延168人	講座数 9回 参加人数 延150人	(H23年度 廃止)	—	—	—	—	—	【廃止の理由】 宮水ジュニア事業で内容をレベルアップした講座を開催しており、講座内容や対象者が重複するため、本事業は廃止し、宮水ジュニア事業の中で対応する。	中央公民館
43104 幼児教育講座	事業終了	参加人数 延422人	講座数 11回 参加人数 延381人	(H23年度 廃止)	—	—	—	—	—	【廃止の理由】 全庁的に類似事業があり、公民館の家庭教育事業でも親子・保護者を対象にした講座を実施していることから廃止。	中央公民館

## 2節 地域社会における教育力の向上

43201 環境学習推進サポーター養成講座	継続	登録者数 13人	18人	24人	16人	22人	他市の環境活動ボランティアの活動を見学するなど、活動を支援する側から環境活動への関わり方を学習する講座を実施した。	◎	養成講座により、登録サポーターが増加したほか、既存のサポーターの学習の場を提供できた。	9	サポーターの活動意欲を高める講座内容にするとともに、受講後の活躍の場づくりを検討する。	環境学習都市推進課
43202 「エココミュニティ会議」への参画	継続	設置数 11地区	17地区	18地区	19地区	19地区	発足後、ある程度年数が経過した地区に対する活動の提案やサポートを中心に活動の支援をすると同時に、未発足地区への働きかけを行った。	○	各地区により、構成団体、活動、テーマは様々だが、PTAや子ども会など子育て世代の母親の参画する会議が増加している。	3,248	設置地区数の増加を図ると共に、地域の環境活動の推進のため、若い世代の参画を促す。	環境学習都市推進課
43203 PTAの育成事業	継続	研修会参加者数 1,110人	1,031人	952人	1,368人	980人	各学校園PTAの役員・委員がPTA活動に関する基本的なことを学ぶ研修会を開催するとともに、PTA会員と地域住民と一緒に家庭教育の課題について考える講演会を実施した。	◎	研修会や講演会を6回開催し、アンケートを実施したところ、全体として90%以上の方から満足したとの回答を得ている。	209	PTAの構成員が毎年変わるため、今後も継続して基本的なことを学ぶ研修会や講演会を開催する。	社会教育課
43204 公民館活動推進委員会事業	継続	参加人数 延10,264人	家庭・家族講座 113回 青少年講座 147回	(家庭) 106回 (青少年) 137回	(家庭) 82回 (青少年) 119回	(家庭) 104回 (青少年) 124回	昨年度に引き続き、地域の課題解決につながるような講座を企画実施した。	◎	地域から選出された推進員によって実施されている推進員会事業においても、家庭・家族、青少年に係わる講座は重要な課題として捉えている。	23,501	今後とも地域が求めている課題を時代に即して的確に捉えて、家庭・家族、青少年を課題とした講座を企画実施する必要がある。	中央公民館

## 基本目標5 子育て家庭にやさしいまちづくり

### 1章 良好な住宅・住環境の整備

51001 簡易耐震診断推進事業【重点】	継続	助成件数 69棟/112戸	34棟/60戸	45棟/131戸	40棟/235戸	27棟/567戸		○	集合住宅の受付件数が増加し、市民意識の向上がうかがえたから。	7,801	耐震改修促進計画に基づき、引き続き対応していく。	建築指導課
-------------------------	----	------------------	---------	----------	----------	----------	--	---	--------------------------------	-------	--------------------------	-------

# 1. 次世代育成支援行動計画(後期計画)推進事業の実施状況一覧

<評価> ◎=できている ○=ほぼできている △=余りできていない ×=できていない

事業名	方向性	計画策定時の実績 (H20年度)	実施状況(実績)					評価	決算額 (千円)	問題点・対応等	所管課	
			H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H25年度において行った拡充、 見直し・改善等の内容及び特記 事項等					
51002 建築防災	事業 終了	完了検査数 1,418件 確認済数 1,390件	(H22年度 廃止)	—	—	—	—	—	—	【 <b>廃止の理由</b> 】 耐震性の向上については簡易耐 震診断推進事業で行っており、 検査等の充実は、中間検査対象 建築物のみの受験通知となっ ているため、本事業は廃止。	建築調整 課・建築 指導課	
51003 特定優良賃貸住宅の供 給	継続	供給戸数 20団地 484戸	20団地 468戸 (12戸用途 廃止)	19団地 430戸 (38戸用途 廃止) (H24.3末 現在)	18団地 406戸 (24戸用途 廃止) (H25.3末 現在)	13団地 295戸 (111戸用途 廃止) (H26.3末 現在)	平成25年度に111戸用途廃止	○	H26.3末で295戸中269 戸が入居中である。	43,305	子育てを担う若い世帯等に対し て、ゆとりある住宅を確保できるよ う、既存ストックの有効な活用をさら に図っていく必要がある。	住宅管理 課
51004 住情報の総合窓口の設 置 【重点】	拡充	リフォーム 相談件数 105件	159件	149件	147件	197件	—	◎	相談者数は多く、市民の 相談に対して貢献してい る。	—	子育て世代の相談はほとんどな く、高齢者の暮らす住宅のバリア フリー化、あるいはサービス付き 高齢者向け住宅への案内などが 主であり、今後も住宅に対する多様 な相談に対応していく。	すまいづく り推進課
51005 住宅のバリアフリー改造 の支援	継続	助成件数 99件	106件	113件	92件	114件	—	◎	助成申請は一定であり、 バリアフリー化に貢献を している。	16,656	市民の関心も高く、これからの高 齢化社会に対し、住み慣れた家 で住み続けていけるよう制度の充 実等が必要と考えられる。	すまいづく り推進課
51006 分譲マンション管理の総 合支援	継続	セミナー 開催回数 基礎1回 実務3回	(基礎) 124人 (実務) 延258人 (リフォーム) 48人	(基礎) 110人 (実務) 延237人 (リフォーム) 48人	(基礎) 103人 (実務) 延217人 (リフォーム) 54人	(基礎) 74人 (実務) 延212人 (リフォーム) 42人	—	◎	各セミナーにおいて毎回 アンケート調査を行い、 評価は高い。	741	講演内容を市民ニーズに合致し た内容に改善しており、セミナー 継続に努める。	すまいづく り推進課
51007 市営住宅の特定目的入 居優先枠の設置 【重点】	継続	優先枠の 戸数 子育て16戸 母子11戸 多子3戸	(子育て) 13戸 (母子)27 戸 (多子)6戸	(子育て) 12戸 (母子)24戸 (多子)4戸	(子育て) 18戸 (母子)39戸 (多子)5戸	(子育て) 13戸 (母子)17戸 (多子)5戸	H24年度と比べ募集戸数を減らし たため、優先枠の戸数も少なく なっているが、母子を除く優先枠 についてはH23年度の戸数を確 保した。	○	移転事業等により募集で きる住宅が限られる中、 一定の優先枠を確保し ているため。	—	引き続き子育て世帯への公募優 先枠を継続するよう努める。	住宅入居 課
<b>2章 安全で安心な移動空間の確保</b>												
<b>1節 安全な道路交通環境の整備</b>												
52101 街路事業(電線類の地中 化)	継続	電線類の地 中化整備延 長 (H21年度へ 繰越)	51m	164m	260m	92m	—	○	関係機関との調整に時 間を要し、一部繰越した ため	340,967	繰越事業を完了させる。	道路建設 課

# 1. 次世代育成支援行動計画(後期計画)推進事業の実施状況一覧

<評価> ◎=できている ○=ほぼできている △=余りできていない ×=できていない

事業名	方向性	計画策定時の実績(H20年度)	実施状況(実績)					評価	決算額(千円)	問題点・対応等	所管課	
			H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H25年度において行った拡充、見直し・改善等の内容及び特記事項等					
52102 街路事業(バリアフリー等)	継続	バリアフリー対応の歩道設置延長135m	498m	449m	959m	1109m		○	関係機関との調整に時間を要し、一部繰越したため	493,563	繰越事業を完了させる。	道路建設課
52103 交通安全施設整備事業	継続	ガードレール等整備1,116m	542m	1,093m	804m	920m	交通安全特別交付金にて施工	○	交通安全特別交付金にて年度当初に予定していた実施予定は概ねできている。	76,999	継続的に予算の確保が必要	道路補修課
52104 歩道改良事業(歩道段差解消等) 【重点】	継続	段差解消数98箇所	79箇所	46箇所	56箇所	35箇所	年度当初より増額して施工。	○	年度当初に予定していた実施予定は概ねできている。	20,140	歩道改良事業にもより大きな改良がもためられているので、改良数が鈍化している。	道路補修課
<b>2節 安心して外出できる環境の整備</b>												
52201 鉄道駅舎エレベーター等設置補助 【重点】	継続	駅舎エレベーター設置率92.9%(13駅/14駅)	92.9%(13駅/14駅)	92.9%(13駅/14駅)	81.2%(13駅/16駅)	93.7%(15駅/16駅)	阪神久寿川駅の補助事業が完了JR生瀬駅の設計が遅れたため、平成25年度予算3,500千円を平成26年度に繰越。	○	1日乗降客数3千人以上のエレベーター等未設置駅は1駅。JR生瀬駅は今年度補助予定。	37,981	工事等が計画どおり施工できるかを確認する。	福祉のまちづくり課
52202 福祉のまちづくりの推進 【重点】	継続	届出件数72件	108件	23件	27件	34件		◎	届出物件については基準を満たしているため。	—	引き続き周知に努める。	建築指導課
52203 超低床ノンステップバスの導入補助 【重点】	継続	導入補助5台導入割合25.5%	2台33.1%	3台33.8%	3台35.5%	3台35.6%		○	H30年度におけるノンステップバス導入率目標を50%とするが、H25年度における達成率は71.2%であるため。	3,814	前年度と同様に目標値を達成を実現させる。	交通計画課
52204 甲子園駅総合改善事業及び駅周辺整備事業	継続	(H22年度新規追加事業)	調査計画等	甲子園駅総合改善事業費(準備工事等)の一部補助等	甲子園駅総合改善事業費(駅舎西側の改築や橋脚工事等)の一部補助等	甲子園駅総合改善事業費(駅舎西側の改築や橋脚工事等)の一部補助等		◎	計画通り進捗している。	150,390	引き続き、事業の推進に努める。	市街地整備課